

旧軍港に「選ばれた地形」

クーポンで五老スカイタワーに登ることもできます。ここから見られる地形こそ、軍港に選ばれた理由です。狭い湾口は敵が侵入しにくい見えにくく、周囲を取り囲む山は、要塞として敵艦を迎撃できます。この特徴は外国の軍港でも見られ、姉妹都市のポーツマス(イギリス)や横須賀港と地形が似ているトゥーロン(フランス)などが挙げられます。ちなみに、ハワイの真珠湾の地形は、舞鶴湾とそっくり。どちらも軍港に適した地形なんですね。



真珠湾の地形は舞鶴そっくり



ポーツマスの綴りは「Portsmouth」つまり「Port(港)」「Mouth(口)」という言葉でできています。その名の通りポーツマスの地形は、舞鶴湾同様、狭い湾口の中に広い内海が広がった、天然の良港なんです。知っていましたか？

「小さなボタン」から見える戦時中の日本人たち(外地)から引き揚げて帰国した人々の中には、その途中で持ち物を奪われたり、食料と交換したりして何も持っていない人もいました。そのため、平地区にあった引揚者の帰国手続きを行う施設「引揚援護局」では、衣服などが配られました。配られた衣服のほとんどは、軍服などが再利用され

たものでした。

引揚記念館に展示されている「袴下(ズボン)」も海軍のズボンだったものを引揚者に支給したものです。よく見ると、ボタンが金属ではなく陶器でできています。日本は、金属の原料を海外からの輸入に頼っていましたが、太平洋戦争中はさまざまなものの輸入が制限されました。このため普段の生活に使われるはずの金属が兵器に使われていったのです。

この陶器のボタンのように、展示資料をよく見るとさまざまな時代背景や物語が秘められています。それを見つめるのも、博物館めぐりの醍醐味です。



▲引揚者に支給された袴下



▲姉妹都市の絆を結んだれんが



戦争末期には、鍋など家庭にある金属も回収されるほど金属が不足していたため、このボタンのように陶器で代用された日用品が作られました。



東郷平八郎中将は、イギリス留学の際、約1年をポーツマスの海軍予備学校で過ごしています。東郷さんが司令長官時代の2年間を過ごした「東郷邸」のいかりマークのついた鬼瓦も展示しています。

り ブラまいる

WITHコロナといわれるなか、地元や近場を巡り、地域の魅力を再発見する旅行が見直されています。私たちのまちは北近畿有数の観光地。そこには、数々の歴史・文化が隠れています。市では、地元を学び直せるお得なクーポンを発行しています。今回は、そのクーポンを活用し、舞鶴の謎をぶらり巡って解き明かします。

《観光振興課・文化振興課・引揚記念館》



▲今回の旅人…まち歩きや空耳を愛する観光振興課職員。

舞鶴が歩んだ 近代日本の痕跡

旧海軍の鎮守府に選ばれたことから近代化が進んだ東舞鶴。そこには、明治以降、激動の近代日本が歩んできた歴史の痕跡が遺されています。赤れんが博物館と引揚記念館をブラり尋ねてみました。

舞鶴の姉妹都市のひとつ、イギリスのポーツマス市。二つのまちを結んだのはれんがでした。

舞鶴に海軍鎮守府が置かれたのは1901(明治34)年。赤れんが倉庫群や給水施設など、海軍が造った施設がたくさん残っています。そんな「舞鶴らしさ」ともいえる赤れんがの魅力や歴史を紹介するべく、1993年に赤れんが博物館を開館。その際、ポーツマス市から18世紀の海軍倉庫のれんがが寄贈されたことをきっかけに、海軍基地があるなど共通点が多い両市の間で交流が始まり、1998年に姉妹都市提携を結びました。

れんがが結んだ友好 ポーツマス市



実は激レアな仕様の1号棟

赤れんが博物館として使われている赤れんが1号棟は、他の赤れんが倉庫群と違い、日本では幕末から明治初期の短期間だけ採用されたフランス積みという珍しい積み方をされています。また、ほかの倉庫群はどれもれんが造ですが、1号棟は国内最古級の鉄骨造。この鉄骨、当時の日本では作れず、わざわざアメリカから輸入したものだそうです。

夏休みは地元で遊ぼう！ まいづる満喫クーポン

赤れんが博物館入場券、引揚記念館入場券、田辺城資料館入場券、郷土資料館入場券、五老スカイタワー展望台入場券、遊覧船乗船券、クーポン券1,000円分(タクシー、レンタカー、Buy Local maizuru加盟店での飲食などに使用可)と3,600円相当の内容がセットになった「まいづる満喫クーポン」を発行しました。

【期間】12月27日(日)まで

【販売場所】赤れんがパーク、西舞鶴駅観光案内所、クーポンを利用できる各施設

【料金】1,300円

【問い合わせ先】舞鶴観光協会 ☎ 77・5900

舞鶴観光ネット 食事等割引店舗

